



岡山県立大学保健福祉学部の村社卓准教授がコーディネーターを務めたシンポジウム。地域自立支援協議会は、家族の会や民生委員児童委員、福祉施設、行政機関など34団体で構成。障がいのある人が安心して暮らせるようにするため、相談支援センター「ゆうゆう」の開設や、障がいのある子どもの特性や接し方といった情報を支援者が共有しやすくなるサポートブック「よろしくね」の開発などに取り組んでいる

## 地域自立支援協議会を考える

### 福祉フォーラムinそうじゃ

福祉フォーラムinそうじゃが昨年12月19日、総合福祉センターで開かれ、障がいの生活を支援する地域自立支援協議会の課題や今後の取り組みについて考えました。

フォーラムには民生委員児童委員や関係者ら約120人が参加。同協議会の「個別相談」や「暮らしを支える」など5つの部会の各部長がシンポジストとなり、同協議会の取り組みをテーマにしたシンポジウムが行われました。参加者は、相談支援の充実や市民への理解・啓発、就労支援など、障がいのある人のよりよい暮らしに必要な課題を改めて確認していました。

## もちつきやゲームで交流

### 情熱クリスマス

外国人住民との交流を図ろうと、市コミュニティ連絡協議会は昨年12月19日、多文化共生イベント「情熱クリスマス」をきよね夢てらすで開きました。

ブラジル人の子どもや大人ら約200人が参加。サンバやボサノバなどの曲が流れるなか、参加者は、同協議会の会員らともちつきを体験したり、ジャンケンゲームなどを楽しんだりし、交流を深めていました。



ジャンケンゲームを楽しむ参加者



## 外国人への医療を学ぶ

### 国際理解学習講演会

地域医療に関する国際理解学習講演会が12月13日、総合福祉センターで開かれ、参加者は在住外国人の医療に必要なことを考えました。

講演会には約120人が参加。アムダ国際医療情報センターの小林米幸理事長が、「地域医療の中に外国人を受け入れるために」と題して講演。特別な制度を作るより、外国人も地域住民として地域の医療機関を受診することが理想と説きました。そして、外国人への医療も危機管理の一つではないかとし、行政や病院、地域が困る前に先手を打つべきと訴え、「地域ぐるみでいっしょによりよく生きていく努力を」とまとめました。



スライドを使い講演するアムダ国際医療情報センターの小林米幸理事長。言葉や医療費の問題をはじめ、宗教・風俗・習慣・医療習慣、インフォームド・コンセント・人権など6項目にわたり、事例を示しながら留意すべき点を話した

## ミニフォト

### 赤米の収穫を祝う



伝統行事のかけりもち

赤米の収穫を祝う霜月祭が12月30日、新本の本庄と新庄の両国司神社で行われ、両神社とも赤米のおにぎりや甘酒が参拝者に振る舞われました。新庄国司神社では、翌年の祭りの当番を決める伝統行事「かけりもち」も行われました。

### 現場の声を多く聞いた



清音小の算数の時間

文部科学省職員教育行政等実務研修で文化庁職員の大野雅史さんが昨年12月7日から同25日まで、市教育委員会での研修を受けました。小学校での授業補助や文化財調査、市図書館での窓口業務などを体験し、現場の声を聞いていました。

### まちに元気をと点灯



駅前のロータリーで点灯

まちに元気をと昨年12月21日から1月11日まで、JR総社駅前広場で、「SOJAキビナリエ2009～吉備路の自然～」をテーマにしたイルミネーションが点灯。LED約6000球の輝きが、駅利用者らの目を楽しませていました。

### 平山郁夫さんを追悼



平山さんの作品に見入る人たち

昨年12月2日に逝去した平山郁夫さんの追悼展を12月15日から同23日まで、市民ギャラリーで開催。市などが所蔵する同氏の作品の展示や、審査に携わった墨彩画公募展の審査風景、吉備路でのスケッチなどを紹介し追悼しました。

### 100歳 おめでとうございます



特製の誕生日ケーキをプレゼントされた渡邊さん

渡邊石藏さん(三輪)が昨年12月15日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。誕生日ケーキのローソクの火をゆっくり吹き消した渡邊さん。長寿の秘訣は、柔道で体を鍛えていたことだそうです。

### 100歳 おめでとうございます



お祝い状をのぞき込む林さん

林辰恵さん(南溝手)が昨年12月18日、100歳の誕生日を迎えられ、県と市から記念品が贈られました。毎日欠かさず散歩をし、大きな病気もしなかった林さん。長寿の秘訣は、「家族との団らんと家庭円満」と教えてくれました。

### 100歳 おめでとうございます



市長と談笑する友杉さん

友杉タケさん(清音柿木)が1月2日、100歳の誕生日を迎えられ、1月5日に県と市から記念品が贈られました。大きな病気をしたことのない友杉さん。長寿の秘訣は「昔から農業などで体を動かしてきたこと」と話してくれました。

### 9月、市民憲章の全国大会を開催



全国大会のチラシを配布

今年9月に総社市で開催される「市民憲章運動推進全国大会総社大会」に向け昨年12月17日、総社市民憲章を唱和・実践する会の会員ら約20人が、天満屋ハピータウンリブ総社店でチラシを配布し、総社大会のPRをしました。

### 二十歳の門出を祝う



今年は「感謝」が式のテーマ

新成人590人が出席し成人記念式を1月10日、市民会館で挙行政。新成人たちは大人への決意を新たにしていました。式は新成人の有志による実行委員が企画・進行。家族や友人へ「ありがとう」の感謝の気持ちを表現しました。

### 稲作の有機栽培を学ぶ



「農業は楽しく」と講師

有機農業チャレンジ講座が12月12日、サンワーク総社で開かれ、農業に携わる人ら約40人が参加。水田で栽培した菜の花をすき込み、肥料や除草に活用することで、経費と農作業を減らす稲作の有機栽培の実践事例を学びました。